



大学機関概要

- 代表者 / 柿本 晃治郎 URA
- 所属 / 研究マネジメント機構
- 専門分野 / 研究支援、産学官金連携

国立大学法人 大分大学 URA室

TEL:097-554-7523

<https://www.ico.oita-u.ac.jp/>

〒870-0028

大分県大分市大字旦野原700番



大分大学研究紹介動画



YouTube

大分大学研究情報誌



PR 販路 産学 情報 人材 災害時にいのちとみらいを守る避難所づくりを考える

▶ 研究内容の特徴

災害時の避難所生活の影響による健康リスクや災害関連死を防ぐため、避難所における健康管理に関するプロジェクトを産官学連携により推進しています。

▶ 技術アピール・マッチングニーズ

地震等の自然災害時に被災者の健康を守り災害関連死を防ぐため、大分大学では、医学、工学、社会科学分野の研究者が協働し、地域の自治体や企業等と連携して、災害時の避難所における健康管理に関するプロジェクトを推進しています。同プロジェクトでは、避難所を含む災害関連情報を集約・共有するシステムや、孤立した避難所への遠隔からの医療支援ロボットの開発等に取り組んでいます。災害に強い安心・安全な社会の実現を目指す本学の取組にご関心を持っていただけたら、どうぞお気軽にお声がけください。

ココがスゴい!

1) 災害情報活用プラットフォーム(EDiSON)

大分大学が主体となり産学官連携により開発したプラットフォームです。空間・動的・静的情報をリアルタイムで集約し、AI等を用い可視化します。可視化されたデータは、防災・災害・復興の体系的マネジメントと適当な対応を可能にします。



2) 遠隔操作ロボットによる被災地支援

大分大学では、遠隔操作ロボットを災害時の避難所へ設置し、健康相談などの支援を開始しました。有効な活用法の研究を続けています。

